



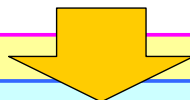
を募集しています。

何のため？

働き盛り世代の健康づくりを推進するため

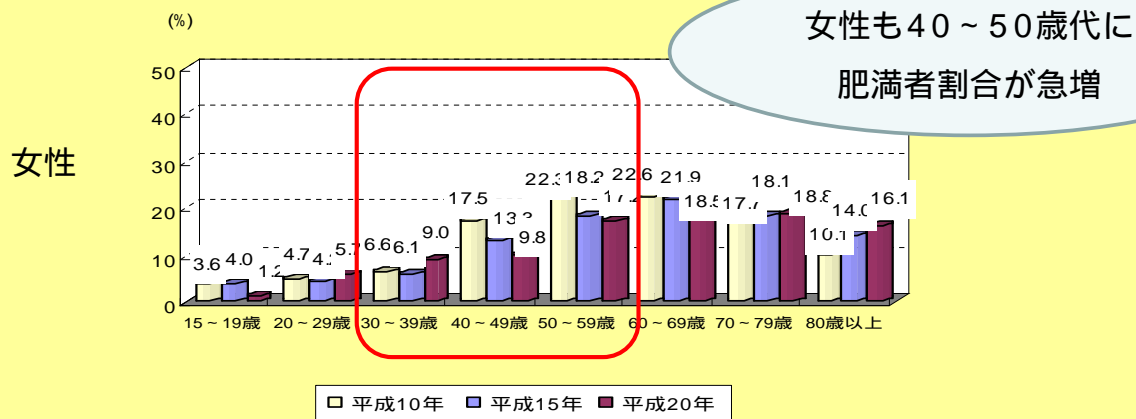
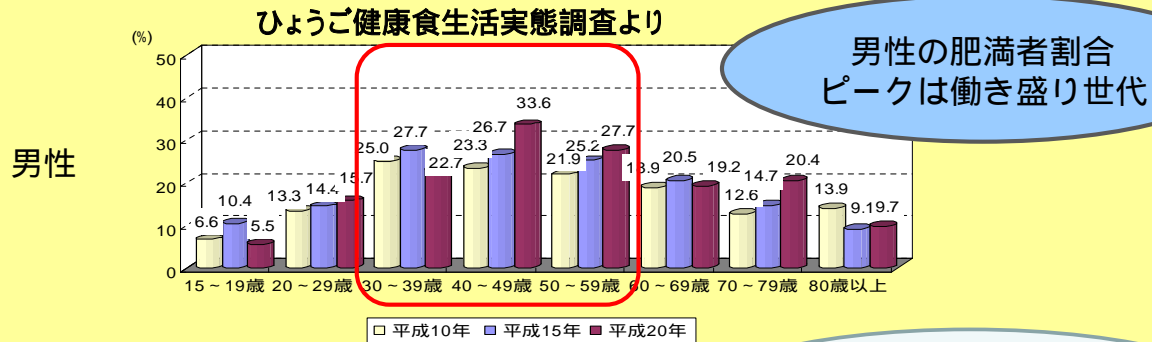
個人の健康づくりは、おのずと限界があるため、社会全体で支援する体制の整備・充実に取り組む必要があります。

なかでも、いわゆる「働き盛り世代」の健康づくりの取組が遅れています。



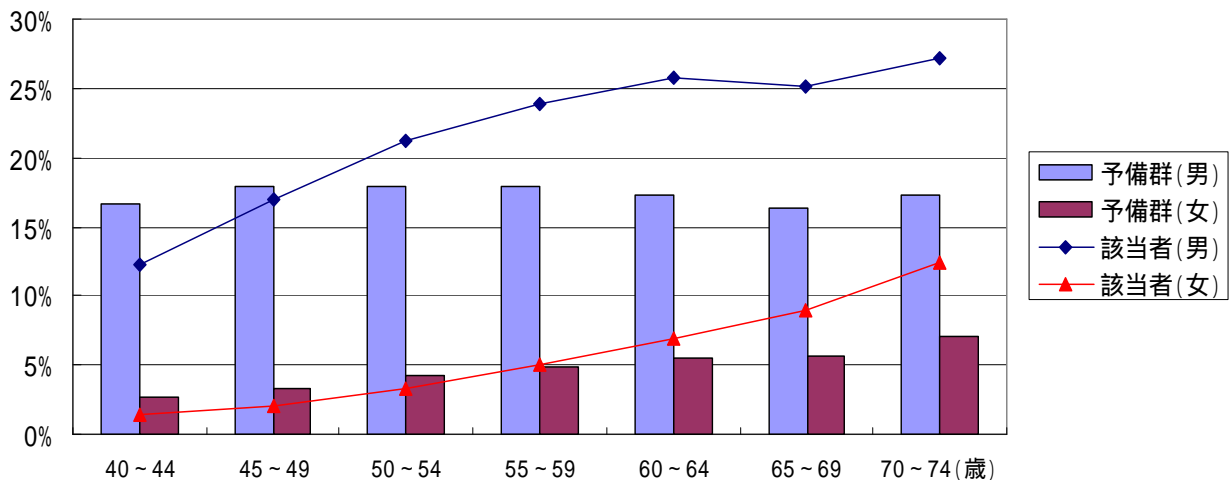
企業と連携した健康づくり

働き盛り世代の健康課題 < 年齢別 肥満者の状況 >



働き盛り世代の健康課題 < 年齢別 メタボの状況 >

内臓脂肪症候群該当者と予備群の性年齢別割合 (H22)
市町国保法定報告結果



該当者... 40歳代以降、男女とも増加傾向
予備群... 女性：加齢に伴い増加傾向
男性：15%を超えながら推移

働き盛り世代の健康課題 < 年齢別 有所見者数の状況 >

表 市町国保における特定健診有所見者状況
(平成23年度法定報告速報値)

< 男性 >

項目	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳
血糖	19.8%	31.2%	37.4%	36.5%
収縮期血圧	28.8%	42.9%	53.8%	57.2%

< 女性 >

項目	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳
血糖	6.4%	14.3%	21.5%	22.3%
収縮期血圧	14.1%	30.3%	46.2%	54.4%

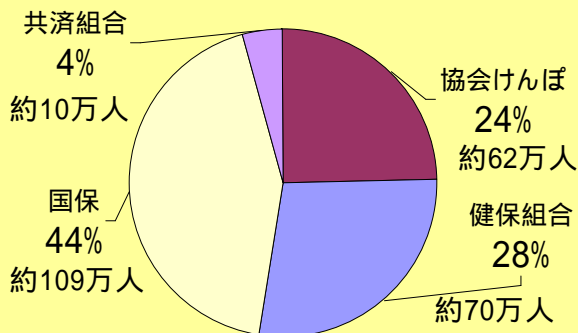
分母は健診全体の受診者数
分子の有所見者数は、以下のとおり
血糖 : 空腹時100、または随時140mg/dl以上
収縮期血圧: 130mmHg以上

高血糖や高血圧は
40～50歳代の間で
急増

働き盛り世代の健康課題 < 特定健診の受診率 >

特に、中小企業の従業員と、
被扶養者の受診率が低い

< 特定健診対象者の保険者別割合(H24) >



< 特定健診・特定保健指導実施率 > (%)

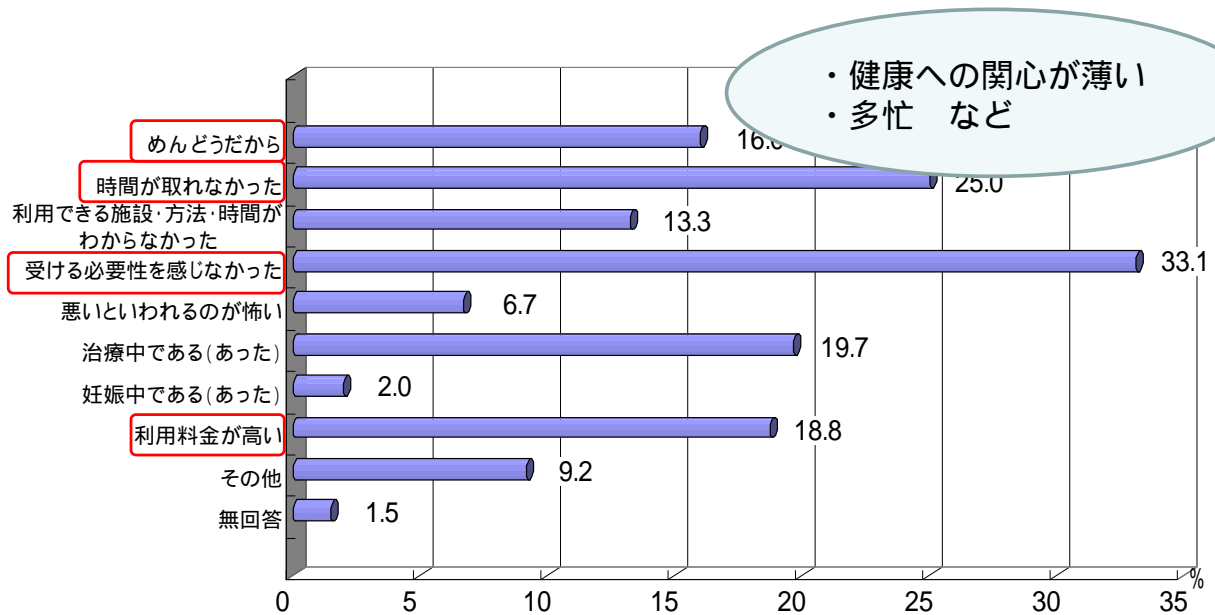
	特定健診		特定保健指導	
	H24	H29目標	H24	H29目標
市町国保	32.5	60	19.1	60
国保組合	24.8	70	5.9	30
健保組合	被保険者	単一90 総合85	23.1	単一60 総合30
	被扶養者		22.7	
協会けんぽ	被保険者	65	6.9	30
	被扶養者		0.9	
共済組合	被保険者	90	22.7	40
	被扶養者		6.8	
全県	44.9	70	17.5	45

H29目標は、厚労省検討会資料より

健診未受診の理由

< 23年度健康づくり実態調査アンケートより >

図表 健診や人間ドックを受けなかった理由



もちろん・・・

従業員が、そして従業員の家族が健康であることは、企業にとっても有益

・健康状態が良ければ、労働生産性が向上します。

・企業が従業員の健康に配慮すること自体が、自社への愛着心の醸成や職場への満足度向上につながります。

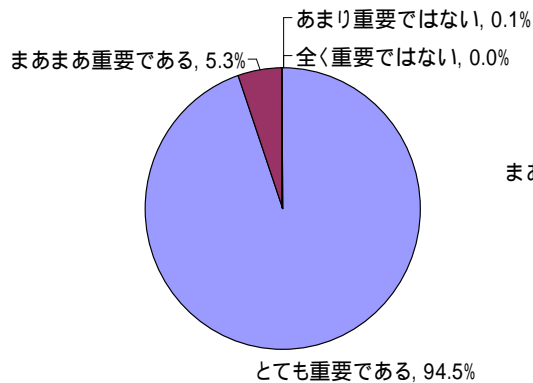
モチベーションの向上や創造力の向上にも

・失敗や事故等の可能性を低減できます。

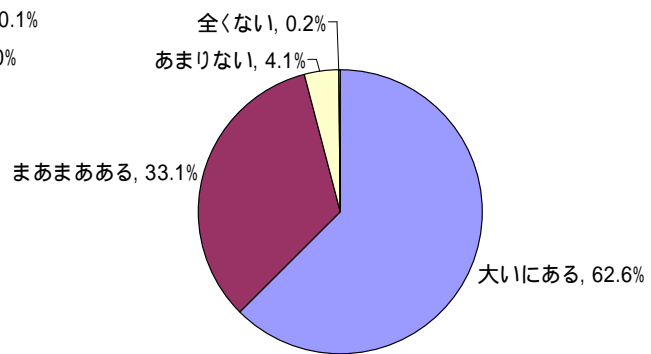
そして…

ほとんどの経営者が従業員の健康づくりを重要と考えている。

【従業員の健康の重要度】



【企業として組織的に健康づくりに取り組む意義】

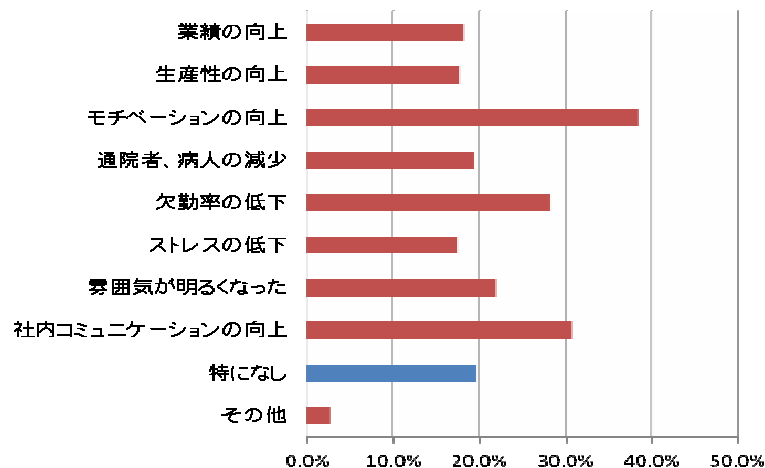


出典：「企業における健康づくりに関する実態調査」東京商工会議所 9

実際に…

企業の8割は健康づくりの効果を実感。

【健康づくりの企業経営への貢献について】

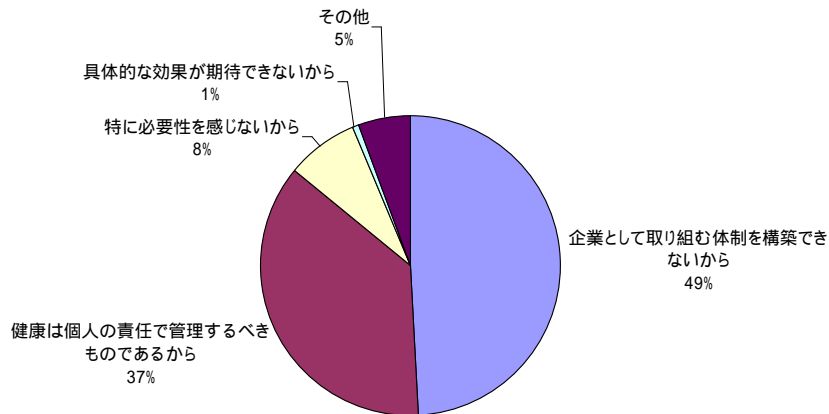


出典：「企業における健康づくりに関する実態調査」東京商工会議所

けれども…

なかなか企業として取り組む体制ができない。

【健康づくりに取り組まない最も大きな理由】



出典：「企業における健康づくりに関する実態調査」東京商工会議所

11

そこで！！兵庫県では…

健康づくりに取り組む企業を支援します。

- ・特定健診やがん検診の受診率向上に向けた取組。
- ・健診後の適切なフォローアップなどの健康づくりに関する取組。



平成25年4月～登録・募集を開始
126社（H26年1月末現在）

12

健康づくりの取り組みって？

例えば、

- ・毎朝、ラジオ体操をする。
- ・スポーツ大会を実施する。
- ・食生活に関する講座を開催する。
- ・ポスターを掲示する。
- ・食堂でヘルシーメニューを提供する。
- ・運動施設の利用費や予防接種の費用を補助する。
- ・健康診断受診を家族の方に勧める。
- ・巡回バスによる出張健診を実施する。 など

13

兵庫県が支援している内容は？

【平成25年度の支援メニュー】

	項目	内容
情報提供	メールマガジンの発信	健康づくりに役立つ内容や研修会等の案内を月1回程度、情報発信
	各企業の活動状況の集約、紹介	登録企業の健康づくりの取組状況を紹介
専門人材の派遣	健康財団の専門スタッフの派遣	保健師、管理栄養士、健康運動指導士の派遣
	生活習慣の総合チェックの実施	講習会や研修会で健康増進プログラムを実施
	健康スポーツ医の派遣	運動教室等に健康スポーツ医を派遣
	歯科医師等の派遣	事業所歯科健診に歯科医師、歯科衛生士を派遣
補助	健康教室等開催100千円(上限)	健康教室、講演会を開催した場合に必要な経費の一部を補助

14

26年度から支援メニューを追加！

新たに、「メンタルヘルスの改善」、「女性のがん検診の受診促進」、「運動習慣の定着」を目的としたメニューを加え、費用の一部を補助

【平成26年度から始まる支援メニュー】

	項目	内容
費用補助	メンタルヘルスの取組推進	1 メンタルヘルスチェック等の実施 2 メンタルヘルスチェックフォローアップ 中小企業のメンタルヘルス改善支援 仕事とこころの相談
	女性特有のがん検診受診促進(中小企業対象)	乳がん検診、子宮頸がん検診の受診費用の一部を補助
	運動施設整備、運動教室支援	運動施設整備、運動機器購入の場合の費用の一部を補助

15

健康づくり推進サポート企業からも支援！

「健康づくり推進サポート企業」とは・・・

「健康づくりチャレンジ企業」に対し、活動支援を行うための支援メニューを提供できる企業等のこと
(兵庫県と健康づくり応援協定を締結した企業です)

(例) 運動・スポーツを通じた健康づくり支援メニュー

- ・健康教室等の実施にあたっての相談や企画立案
- ・講師の派遣
- ・スポーツ施設を活用した研修プログラムの提供 など

健康づくりチャレンジ企業向けに、特別メニューを提供



16

サポート企業の支援メニュー紹介！

3社と協定締結（H26年1月末現在）

アシックス

ランニング、ウォーキング講習会の実施 等

コナミスポーツ&ライフ

測定、カウンセリング、実技を含む健康啓発セミナーの企画、相談、講師派遣、スポーツ施設の体験入会 等

デサント

講師派遣による体力測定プログラム及びセミナープログラムの提供、健康教室等の企画・相談 等

17

登録要件は？

事業所単位で受付

県内に事業所がある企業

団体、福祉施設、病院、地方公共団体も対象です

登録には、「健診の受診状況」と「健康づくりの取組状況」をお答えいただきます。

年1回、報告をお願いします

18

チャレンジ企業に登録するには？

無料です。

申込書に必要事項を記入し、
健康増進課に提出(メール、FAX、郵送可)

詳しくはホームページへ

http://web.pref.hyogo.lg.jp/kf17/kenkou_challenge.html

お申し込みもできます。

19

ぜひ、この登録を
健康づくりにチャレンジする
きっかけにしてください！